安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	:	ノックスドール900
会社名	:	株式会社創新
住所	:	東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階
電話番号	:	03-3918-3100
FAX番号	:	03-3918-3511
推奨用途	:	アンダーコート防錆剤
使用上の制限	:	業務用使用に限定

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分3
健康に対する有害性	
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(麻酔作用)
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語　警告

危険有害性情報
引火性液体および蒸気
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
眠気またはめまいのおそれ

注意書き

安全対策
子供の手の届かないところに置くこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
防爆型の電気/換気/照明等機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置
皮膚または髪に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合:多量の水／石鹸で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

保管　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

成分

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法			化管毒劇
				表示	がん原	特化則	化管法
				通知	皮膚障害	有機則	毒劇法
水素処理重質石油ナフサ ベンゼン<0.1%	30-35%	64742-48-9	9-1689	該当	非該当	非該当	非該当
				該当	非該当	第三種	非該当
ブローンアスファルト	45-50%	64742-93-4	9-1719	該当	非該当	非該当	非該当
				該当	非該当	非該当	非該当
カオリン	～20%	1332-58-7	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
石油スルホン酸カルシウム	1-2%	61789-86-4	9-1732	非該当	非該当	非該当	非該当
				非該当	非該当	非該当	非該当
プロピレンカーボネート	1-3%	108-32-7	5-524	該当*1	非該当	非該当	非該当
				該当*1	非該当	非該当	非該当

*1：令和8年度施行

4. 応急措置

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合　直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤　粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、散水

使ってはならない消火剤　棒状注水

特有の危険有害性　燃焼により有毒な蒸気を発生する時がある。

特有の消火方法　自給式呼吸器などの保護具を使用する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
火災のそばの容器は移動或は水で冷却する。

消火を行う者の保護　消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

適切な吸着剤に吸着させ、あるいはスコップ等ですくい取り、適切な容器に回収する。

中和

「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

気中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
皮膚・眼への接触を避ける。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、涼しいところに、容器を密閉し保管する。
直射日光を避けて保管する。
施錠して訪韓する。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

安衛法	管理濃度	設定されていない			
	濃度基準値設定物質	設定されていない			
許容濃度					
	日本産業衛生学会	カオリン(第1種粉塵として)		0.5mg/m^3	(吸入性粉塵)
				2mg/m^3	(総粉塵)
	ACGIH	カオリン	TWA	2mg/m^3	(吸入ファンクション)

保護具

呼吸用保護具	換気が不十分な場合は、フィルター付きの呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	直接接触や飛沫の恐れがある場合、保護手袋を使用する。ニトリルゴム製を推奨。
眼の保護具	安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
色	黒色
臭い	溶剤臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	145-200℃
可燃性	可燃性

爆発下限界及び爆発上限界	下限界 0.6vol%　　上限界 7vol%
引火点	40℃
自然発火点	＞200℃
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	130-160mm^2/s(40℃)
溶解性 水に対して	不溶
n-オクタノール／水分配係数	2-7
蒸気圧	3hPa(20℃)
密度	～1.03g/cm^3 (20℃)
相対ガス密度 (空気=1)	＞3
粒子特性	情報なし
その他データ VOC	360g/L

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

7項「取扱い上及び保管上の注意」に記載の条件下では安定

危険有害反応可能性

危険有害な反応は知られていない。

避けるべき条件

静電気

いかなる形態の熱(太陽放射など)にもさらさないでください。過剰な圧力がかかる可能性があります。

混触危険物質

強酸、強塩基、強酸化剤、強還元剤

危険有害な分解生成物

通常の条件下で予想される危険有害な分解生成物はない。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下のとおりである。

急性毒性

経口	水素処理重質石油ナフサ	LD50 ラット	＞2000mg/kg
経皮	水素処理重質石油ナフサ	LD50 ウサギ	＞2000mg/kg
吸入(ミスト)	水素処理重質石油ナフサ	LC50 ラット	＞5000mg/m^3/4h

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
呼吸器感作性	利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。
生殖細胞変異原性	化学構造は変異原性を示唆していない。
発がん性	発がんの危険性はない。
生殖毒性	化学構造は生殖毒性を示唆していない。
特定標的臓器毒性 単回ばく露	水素処理重質石油ナフサ　　区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性 反復ばく露	利用可能なデータに基づくと、区分に該当しない。
誤えん有害性	区分に該当しない

12. 環境影響情報

製品としての環境有害性情報はない、成分の環境有害性情報は以下のとおりである。

生体毒性

急性	魚類	水素処理重質石油ナフサ	＞100mg/L
	甲殻類	水素処理重質石油ナフサ	＞100mg/L

	藻類	水素処理重質石油ナフサ　＞100mg/L
慢性	情報なし	
残留性・分解性	易分解性ではない。	
生体蓄積性	生物蓄積性の潜在性はある。	
土壌中の移動性	土壌中の移動性は比較的低いと予想される。	
オゾン層への有害性	情報なし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送 ：	IMOの規定に従う。
国連番号	UN1139
品名(日本語名)	コーティング液
品名(英語名)	COATING SOLUTION
国連分類	3
副次危険性	なし
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	-
航空輸送 ：	ICAO／IATAの規定に従う。
国連番号	UN1139
品名(日本語名)	コーティング液
品名(英語名)	COATING SOLUTION
国連分類	3
副次危険性	なし
容器等級	Ⅲ
緊急時応急措置指針番号(NAERG)	127

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
陸上規制性情報	消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質	非該当
化学物質排出管理促進法	第一種指定化学物質	非該当
労働安全衛生法	通知・表示義務物質	石油ナフサ、アスファルト
	通知・表示義務物質	炭酸プロピレン　令和8年度から施行
	有機則:第三種有機溶剤等	石油ナフサ
	特化則	非該当
	がん原性物質	非該当
	皮膚等障害化学物質	非該当
	濃度基準設定物質	非該当
毒物及び劇物取締法		非該当

16. その他情報

Auson AB SDS 13/05/2024, Version 14.0
GHS政府分類
令和6年度施行安衛法皮膚等障害化学物質規制に伴う見直し
令和6年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し
令和7年度施行安衛法濃度基準設定物質規制に伴う見直し
令和7年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し
令和8年度施行安衛法表示・通知義務物質改訂に伴う見直し

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。 このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。